

教育環境整備

教室のエアコン整備(小中学校、幼稚園)

教総

猛暑となる年が続くことから、全小中学校の普通教室と図書室・理科室などの特別教室、幼稚園の保育室にエアコンを設置し、稼働しています。(2019年度整備完了)

学校トイレの洋式化

教総

小中学校のトイレが、洋式便器が少ない、老朽化しているなどの状況を受け、便器の洋式化と衛生環境の改善を図っています。(2021年度完了予定)



校舎などの整備

教総

神栖第二中学校の生徒数増加に対応するため、校舎を増築しました。また、小中学校の校舎などが老朽化しているため、外壁の改修などを行ない、安全性を高めています。

- 校舎増築：神栖二中(2019年度)
- 外壁改修：須田小校舎(2018年度)、やたべ土合小校舎、神栖一中体育館、神栖三中育心館(2019年度)、波崎一中体育館(2020年度)、やたべ土合小体育館(2021年度完了予定)

ICT(情報通信技術)環境の整備

学務

小中学校の児童生徒全員に学習者用端末(タブレット)の使用ができるようにしました。

さらに大型モニターを設置、端末の運用サポートなどを実施し、ICTを活用した質の高い教育の実現を目指しています。(2020~2021年度)



ICTを活用した授業

学校プールの集約化

教総

小中学校プールの老朽化が著しいため、維持管理費などの軽減や、適切な水泳授業の実施を目指し、学校プールを公営温水プールへ集約を進めます。

既存の施設(かみす防災アリーナ、海浜温水プール)に加え、新たに波崎地区に公営の屋内温水プールを建設し、3施設への集約化を進めます。

津波ハザードマップの作成

防災

津波災害リスクが高い地区の津波避難体制を確保するため、茨城県が公表する最新の津波浸水想定区域を使用した津波ハザードマップを作成します。(2021年度)

大規模災害に備えた計画の策定

防災

近年、大規模自然災害の発生によるリスクが一段と高まっていることから、事前防災・減災、その他迅速な復旧復興に資する施策を総合的に推進するため、国土強靱化地域計画を策定しました。

また、将来にわたって安全・安心に住み続けられるまちの実現に向け、津波防災地域づくり推進計画を策定しました。(2020年度)

生活環境整備

新可燃ごみ処理施設の整備

廃対

神栖市・鹿嶋市の可燃ごみを処理するRDF化施設の老朽化に伴い、新たな可燃ごみ処理施設を整備します。また、両市のごみを効率的に収集・運搬するための広域ごみ中継施設を整備します。これらの整備には、国の「循環型社会形成推進交付金」や「震災復興特別交付税」を活用しています。(2023年度完成予定)



新可燃ごみ処理施設完成イメージ

合葬墓の整備

環境

複数の人の遺骨を同じ建物内に安置する合葬墓を海浜公園墓地内に整備します。利用者は維持管理を必要とせず、管理料も発生しない永代供養施設となり、安価な費用で利用できます。(2022年度完成予定)



墓地の拡張整備

環境

松濤園墓地の空き区画が少なくなっていることから、区画を増設(和風67区画、洋風112区画)します。

また、海浜公園墓地では、合葬墓の整備に伴い、駐車場の整備を行ないます。(2021年度)



松濤園墓地拡張整備(イメージ)